



ガースの甚平姿で毎日新聞大阪本社を訪れた=写真。

近年、小鳥を飼う人が増える傾向にあるといい、同店は6年前、展示即売会を始めた。今回は約130の作家や専門店から約1万点がそろう。小鳥を模したり、姿を描いたりしたアクセサリ

ーや文房具、食器などカラフルで愛らしいグッズが集まり、小鳥の顔をデザインした「ことりケーキ」(702円)3種類も数量限定で登場する。

22、26両日の午前11時と午後1時には、もずやんも駆けつける。

【竹内梓】

市内

就職めざし共同生活

就職活動する学生を支援する会社「キャリアアップ」(大阪市西淀川区)が3月、西淀川区に就活シェアハウス「CREWSO(クルーソー)」をオープンした。就活生は1週間~1年間、就職という目的を持って共同生活する。協調性やコミュニケーション能力を磨き、中小企業経営者らとの交流の場も用意される。就活生と企業側が互いを知る新たな就職活動の形を目指している。【竹内梓】

西淀川に就活生シェアハウス

キャリアアップ社長の野口政隆さんは、「建設不動産会社社長でもある。採用側として悩んだ時期があった。問題の一つは「採用の際の学生と企業のミスマッチ」だ。野口さんは「中小企業の場合、会社名すら知らない学生が多い。企業側も志望学生が少ないので安易に採用を決めがち。そのため、すぐに辞めた」と述べた。

そこで「採用の前に両者が認識をすり合わせる場」をつくろ

うと、就活シェアハウスを計画、昨年、キャリアアップを設立した。

キャリアアップは中小企業経営者を対象に会員を募り、現在は約80社と契約。運動会や採用をテーマにしたワークショップなど就活生と企業側が参加するイベント開催やインターンシップのあっせんもする。イベント後、学生と企業側が意気投合すれば夕食を共にすることも勧める。一緒に飲食し、採用が決まった学生もいるという。

シェアハウスは3階建て。現在は男女7人が暮らす。男女別のドミトリー(相部屋)で、風呂やキッチンなどは共有。家賃

中小企業経営者と交流も

は月額3万5000円。追手門学院大4年の今村陸さん(21)は「中小企業の方と直接話して、仕事内容や熱い思いを知ることができた。これまで大手指向だったが視野が広がった」と効果を実感し、「共同生活する人たちと、就活の悩みや喜びを分かち合え

る」とも話す。

野口さんは「入居者たちは同志でも、ライバルでもある。ほかの人の振る舞いや生活態度を見て、いい影響を受けている」と語る。

問い合わせはキャリアアップ(06・6477・6667)。

